



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 8 月 17 日(木)

西目高校校外学習～能代学習ツアー～ 編

平成 22 年度「森づくり県民提案事業」に採択された「西目高校木育(もくいく)スクール 2010」の一環として、今年も秋田県立西目高等学校の農業・土木系列の 5 名の生徒さんが 4 名の引率の先生とともに能代へおいでになりました。

木高研では、佐々木先生から研究所の説明を受けたあと、所内のいろいろな実験施設を見学しながら、木材の特性や木材が私達の身の回りでどんなところに活用されようとしているのかを学びました。

「ご飯もおかずもいくらでもお代わり自由！」の昼食を工業団地で堪能したあと、常盤の毘沙門憩いの森公園に向かいました。

雨が本降りになる前にと、早速、お約束のカヌー体験。今年は 2 艘に分乗し、先生方も初体験。日頃は静かなため池に歓声や絶叫が響きわたり、楽しい木材の使い方を体験してもらうことができました。

その後は、大学や企業・地域の方々が協力して造った木橋や毎年少しずつ延長しているウッドチップ舗装道のほか、現地製材と加工の実験事業で、完成したばかりの流路工も見学し、「木材を活用したまちづくり」を知ってもらいました。

木育スクールでは、このあとスギ間伐・枝打ちなどの林業体験やネットワーク開発品のひとつ、ティッシュボックス型の木製プランターカバーの製作講習会などが続きます。西目高校ならではの地域の山と人を結ぶ取り組みとして、来年以降も是非、継続して行ってほしいものですね。

文： 渡辺 千明

秋田県立西目高等学校の HP: <http://www.nishime-h.akita-pref.ed.jp/>



研究所の説明で早くも興味深々。



山内秀文先生の指導で熱と水分で変化する木材の性質を知る実験も行いました。



佐々木先生から木高研の駐輪場で実験中のウッドチップ舗装の説明を受け、足触りを体感。



最後まで本降りにはならず、常盤の現場見学も楽しく終わることができました。